

感染看護学	2年・前期	1単位	教授 千明 政好 他
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34121152

1. 授業のねらい・概要

感染のメカニズムおよび感染看護の意義理解し、感染対策・感染管理・感染看護に必要な知識を習得する。

2. 到達目標

1. 感染のメカニズムを理解できる。
2. 感染防御の基本的対策が理解できる。
3. 職業感染防止への対応を理解できる。
4. 処置別感染対策の必要性が理解できる。
5. B型肝炎の感染経路を理解すると共に、患者講義で、罹患した患者や家族の気持ちを理解し、患者に寄り添う心を養う。

3. 授業の進め方

講義とグループワークを中心に授業を進める。

4. 授業計画

1. 感染予防のための基礎知識（千明政好）
2. 洗浄・消毒・滅菌と医療廃棄物（千明）
3. 薬剤耐性菌対策・手指衛生（千明）
4. 職業感染防止への対応1（麻疹・風疹・水痘・ムンプス・インフルエンザ）（千明）
5. 職業感染防止への対応2（結核・消化器感染症：ノロなど、肝炎）（千明）
6. 針刺しおよび血液・体液暴露防止と医療関連感染サーベイランス（千明）
7. まとめと試験（千明）
8. B型肝炎患者による患者講義

5. 成績評価の方法・基準

授業中の態度・グループワーク参加度(20%)、定期試験(80%)を総合して評価する。

6. テキスト・参考文献

洪愛子（2013） 院内感染予防必携ハンドブック第2版 中央法規出版

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

事前学習として、 授業計画に該当する部分(テキスト)を 30分程度読んでおくこと。

8. 受講上の留意事項（先修条件がある場合は8. に記入する）

シラバス該当範囲の知識に関して十分に準備して臨むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

指示した課題は教員が内容をチェックして返却する。内容の不備なものは再提出を求める。
定期試験の解答は試験後口頭でフィードバックする。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

選択科目であるが、看護師に必要な知識なので受講することが望ましい。